

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県地方独立行政法人加古川市長病院機構 加古川中央市長病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	施設区分	管理費の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経費対象	診療科費	DPC対象病院	特殊診療科目 ※1	指定病院の状況 ※2
患者	35	対象	ト 透し 未 割 方	教 師 が 実 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
	66,254	非該当	非該当	7：1

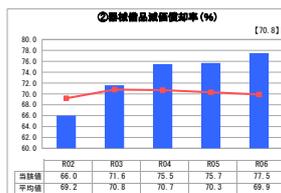
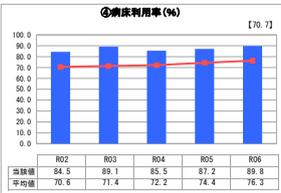
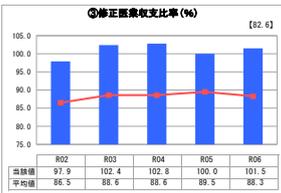
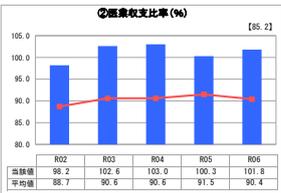
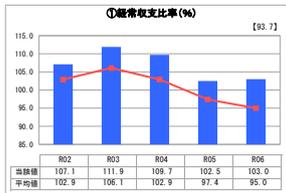
※1 ト…人間ドック 透…人工透析 1…ICU・CCU 未…NICU・東風用室 別…運動機能訓練室 割…がん（放射線）診療

※2 教…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地区医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総合）
600	600	600
許可病床（精神）	許可病床（産科産）	許可病床（合計）
		600
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
574	-	574

グラフ凡例
■ 当院病院費（当院値）
□ 類似病院平均値（平均値）
□ 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

事業区分・実施区分	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成28年度		
平成23年度		
年度		

I 地域において担っている役割

加古川市をはじめ東播磨医療圏において、高度急性期から急性期の機能を担っている。救急医療においては、2次救急医療機関として機能しており、特に播磨圏域、小児・周産期領域においては、24時間365日の救急受入体制により当該圏域を越え広く受け入れを行っている。また、地域の基幹病院として、消化器センター、心臓血管センター、こどもセンター、産婦人科センター、がん医学的治療センター、呼吸器センターを設置し、これらの診療センターを中心に多くの診療科と連携しながら高度専門医療の提供を行うとともに、地域がん診療連携拠点病院として、より充実したがん治療を提供している。

II 分析編

1. 経営の健全性・効率性について

各種経営指標のモニタリングや診療報酬改定への対策を講じている。収益の確保と費用の削減に取り組んだ結果、令和5年度に引き続き医療収支比率が100%を超えており、安定した経営状況を維持している。収入に関しては、入院患者1人当たりの収益及び外来患者1人当たりの収益がともに令和5年度から増加しており、安定的に収益を確保できている。費用に関しては、物価上昇が続く中、材料費対経費収支比率が令和5年度と同等水準を維持し、類似病院平均値を下回っており、効率的な病院運営が図れている。

2. 老朽化の状況について

平成28年7月の新病院への移転に伴い、建物を新築していることや一定数の設備品を更新していることから、有形固定資産減価償却率は、類似病院平均値と比べても低くなっている。また、1床当たり有形固定資産についても、類似病院平均値を大幅に下回っており、効率的な病院運営が図れている。

全体概況

東播磨医療圏における急性期・高度急性期医療を担う病院として、乳がんから産科まで市民が安心して医療を受けることができるよう、地域の医療機関と役割分担で連携を図りながら、地域医療を支えている。令和6年度の経営については、物価上昇や電気料金の高騰、高度医療の推進による材料費の増加があるものの、医療と経営の両立を図り、収益の確保と費用の削減に取り組んだ結果、効率的な病院運営が図れている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。